

ミニディスクロージャー誌

平成**22**年**3**月期・営業の中間ご報告

M I N I D I S C L O S U R E

HOKURIKU HOKKAIDO Tokyo・Nagoya・Osaka



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ[®]
Hokuhoku Financial Group, Inc.



地域とあなたのために、



もっと。

■ 経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、健全経営のもと、広域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、営業地域のお客さまの安心と繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄 ▶

社会的使命を实践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実 ▶

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造 ▶

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

皆さまには、日ごろより当社をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

ここに、ほくほくフィナンシャルグループの「ミニディスクロージャー誌（平成22年3月期・営業の中間ご報告）」をお届けいたします。

本誌では、当社の平成21年度中間期の業績や取り組みなどについてご紹介しております。ぜひ一読いただき、当社に対するご理解の一助としていただければ幸いです。

当社は平成16年に北陸銀行と北海道銀行の経営統合により誕生し、おかげさまで平成21年9月に5周年を迎えることが出来ました。また、平成21年8月には公的資金を完済いたしました。ひとえにお客さまや株主の皆さまのご理解とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

これまでのご支援にお応えすべく経営努力を続け、経営理念であります「地域共栄」の精神で地域のお客さまとともに発展していくことを目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月



取締役社長
高木 繁雄
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長
堰 八 義博
(北海道銀行 頭取)

▶ CONTENTS

ごあいさつ	02	トピックス (北陸銀行)	12	財務諸表 (北陸銀行単体)	19
業績ハイライト	03	地域とともに (北海道銀行)	13	財務諸表 (北海道銀行単体)	20
グループの概要	07	トピックス (北海道銀行)	16	株式のご案内	21
地域とのかかわり	08	財務諸表 (ほくほくフィナンシャルグループ単体)	17	お知らせ	22
地域とともに (北陸銀行)	09	財務諸表 (ほくほくフィナンシャルグループ連結)	18		

■ 営業の概況<ほくほくフィナンシャルグループ連結>

(単位:億円)

	21年9月期		20年9月期
		前中間期比	
経常収益	1,143	△94	1,238
経常利益	133	△63	196
中間純利益	57	△317	375
自己資本比率	10.91%	0.52%	10.39%

■ 営業の概況<北陸銀行・北海道銀行>

(単位:億円)

	2行合算		
	21年9月期		20年9月期
		前中間期比	
経常収益	1,044	△86	1,130
コア業務粗利益	796	△77	873
経費(臨時処理分を除く)	471	15	456
コア業務純益	324	△92	417
与信費用	168	7	161
有価証券等関係損益	8	61	△52
経常利益	142	△52	194
中間純利益	114	△264	378

(単位:億円)

	北陸銀行		
	21年9月期		20年9月期
		前中間期比	
経常収益	575	△78	653
コア業務粗利益	453	△45	498
経費(臨時処理分を除く)	258	1	257
コア業務純益	195	△46	241
与信費用	70	△34	105
経常利益	98	2	96
中間純利益	75	△225	301
自己資本比率	10.56%	0.30%	10.26%

(単位:億円)

	北海道銀行		
	21年9月期		20年9月期
		前中間期比	
経常収益	469	△8	477
コア業務粗利益	342	△32	375
経費(臨時処理分を除く)	213	14	198
コア業務純益	129	△46	176
与信費用	97	41	56
経常利益	43	△54	98
中間純利益	38	△39	77
自己資本比率	10.30%	0.62%	9.68%

当社における中間期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期比94億円減少し1,143億円、連結経常利益は前中間期比63億円減少し133億円、連結中間純利益は前中間期比317億円減少し57億円となりました。

連結自己資本比率は前中間期末比0.52%上昇し10.91%となりました。

配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、優先株式は所定の中間配当とし、普通株式は中間配当を見送りとさせていただきます。

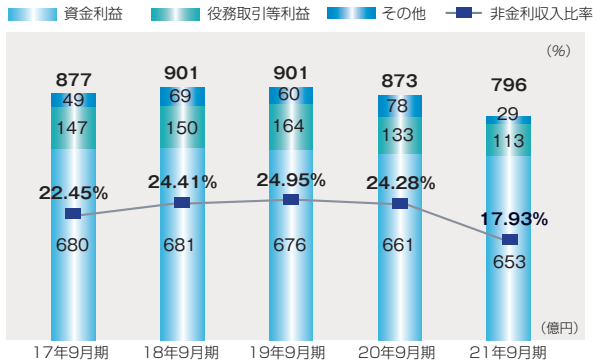
なお、期末配当は、優先株式は所定の配当、普通株式は1株あたり3円を予定しております。

銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、役員取引等利益や外国為替売買益などが減少したこと、また、人件費の増加やシステム投資による経費の増加もあり、前中間期比92億円減少の324億円となりました。

経常利益は、与信費用が微増にとどまる一方、国債等債券損益や株式等損益が改善したこともあり、142億円となりました。

中間純利益は、子会社清算益などの特別利益もあり、114億円となりました。

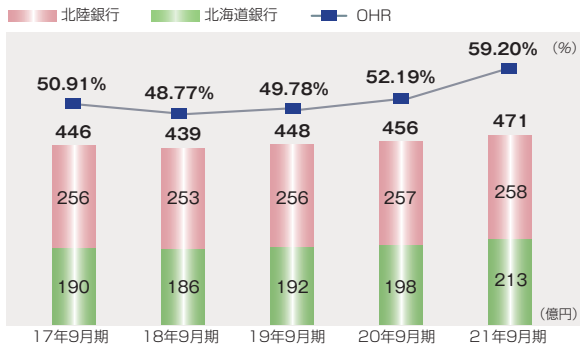
■ コア業務粗利益<2行合算>



コア業務粗利益は、資金利益や役員取引等利益が減少したことから、前中間期比77億円減少の796億円となりました。

- コア業務粗利益＝資金利益＋役員取引等利益＋その他
一般の企業で言う「売上総利益」に相当する概念で、銀行の本業におけるおおもとの利益、銀行が創造する価値の源泉です。
- 資金利益・・・貸出金、預金、有価証券等の利息収支等。
- 役員取引等・・・為替手数料、投資信託、保険の取扱手数料等。
- その他・・・外国為替売買益やデリバティブ収益等。
- 非金利収入比率・・・コア業務粗利益のうち、資金利益以外が占める割合。

■ 経費<2行合算>

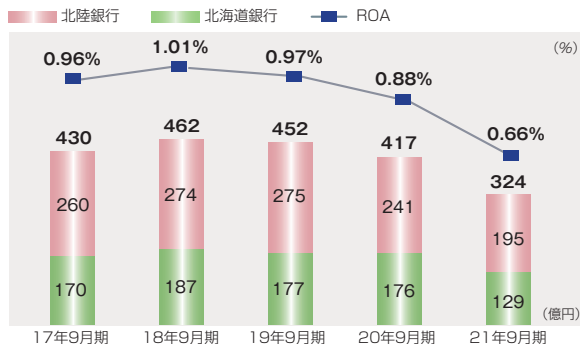


経費は、スタッフ・契約社員の正行員登用および直接雇用、システム投資の増加により、前中間期比15億円増加の471億円となりました。

OHRは地銀平均を上回る効率性を維持しております。

- 経費＝人件費＋物件費＋税金
一般の企業で言う「販売費及び一般管理費」に相当します。
- OHR＝経費÷コア業務粗利益
少ない経費でいかに多くの利益をあげているかを示す指標で、数値が低いほど効率的です。

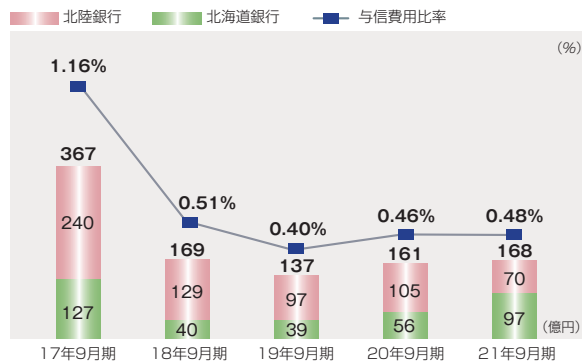
■ コア業務純益<2行合算>



コア業務純益は、粗利益の減少、経費の増加により、前中間期比92億円減少の324億円となりました。

- コア業務純益＝コア業務粗利益－経費
一般の企業で言う「営業利益」に相当し、銀行の本業の成果を示したもので、銀行特有の指標です。
- ROA＝コア業務純益÷総資産(期中平均)
資産をいかに有効に活用して利益を上げているかを示す指標で、数値が高いほど効率的です。

■ 与信費用<2行合算>



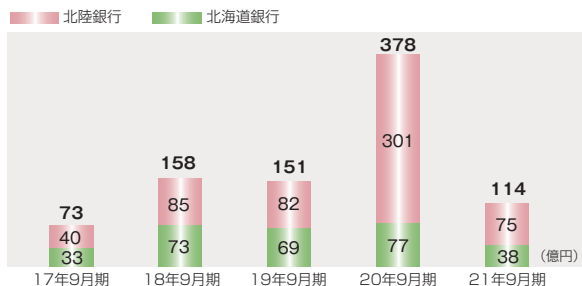
与信費用は、経済環境の悪化はあったものの、前中間期比若干の増加にとどまり、168億円となりました。

■与信費用=不良債権処理額+一般貸倒引当金繰入額

■与信費用比率=与信費用÷貸出金平残

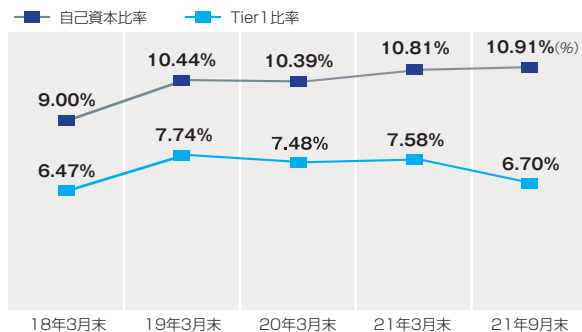
与信費用と貸出残高とを対比した指標で、数値の低下は、不良債権処理の進展に伴い資産の健全化が進んでいることを示しています。

■ 中間純利益<2行合算>



中間純利益は、前中間期に分割子会社の清算方針決定を受け法人税等調整額が減少し中間純利益が増加していましたが、当中間期はそうした要因はなく、前中間期比264億円減少の114億円となりました。

■ 自己資本比率<FG連結>



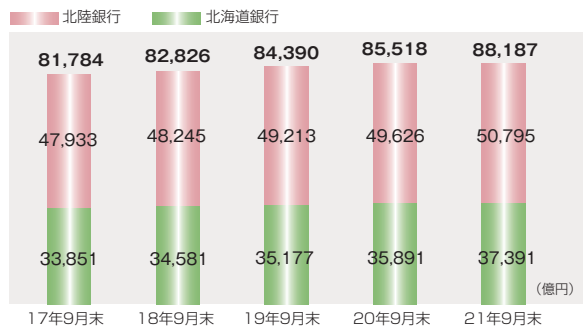
自己資本比率は、公的資金の返済を実施した後、21年3月末比0.10%上昇し、10.91%となりました。

■自己資本比率…自己資本(資本金や利益の蓄積等)が資産に比べてどの程度充実しているかを示します。この比率が高いほど安全性・健全性が高いといえます。

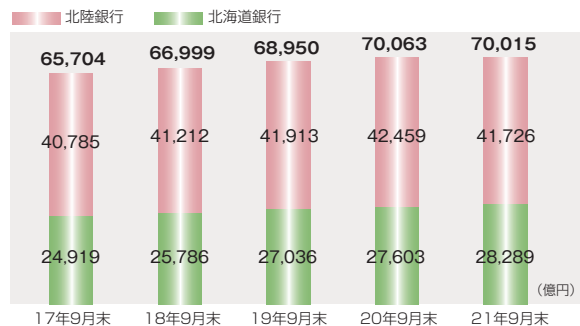
■Tier1比率…リスク・アセット(貸出金等の資産)に対するTier1(自己資本の基本的項目である資本金・資本剰余金・利益剰余金等)の割合を示したもので銀行の本質的な健全性を示すものです。

※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(バーゼルⅡ)を適用しております。平成18年3月以前は旧基準により算出しております。

■ 預金<2行合算>

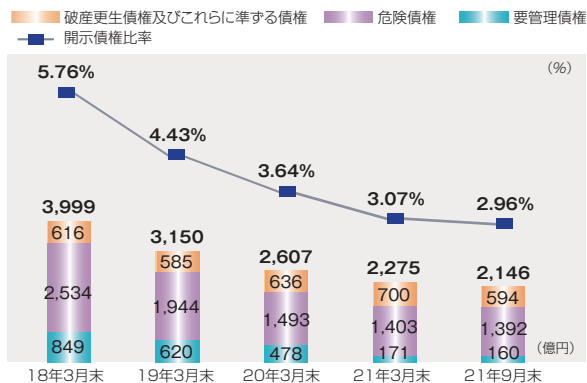


■ 貸出金<2行合算+分割子会社>



※北陸銀行では、従来、RMBS（住宅ローン信託受益権等）を「貸出金」に含めておりましたが、17年度から「買入金銭債権」に含めており、過年度との比較のため、RMBSを控除した計数を記載しております。

■ 金融再生法開示債権<2行合算+分割子会社>



金融再生法開示債権は、前期末比128億円減少し、2,146億円となりました。開示債権比率は、前期末比0.11%低下し、2.96%となりました。

■金融再生法開示債権・・・金融再生法（金融機能の再生のための緊急措置に関する法律）に基づく基準により、貸出金等の分類を公表しています。

■開示対象債権・・・貸出金及び支払承諾見返、外国為替、未収利息、仮払金、貸付有価証券、自行保証付私募債。但し、要管理債権は貸出金、自行保証付私募債のみ。

■破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・破産、会社更生等の事由により経営破綻に陥っているお取引先に対する債権及びこれらに準ずる債権のことです。

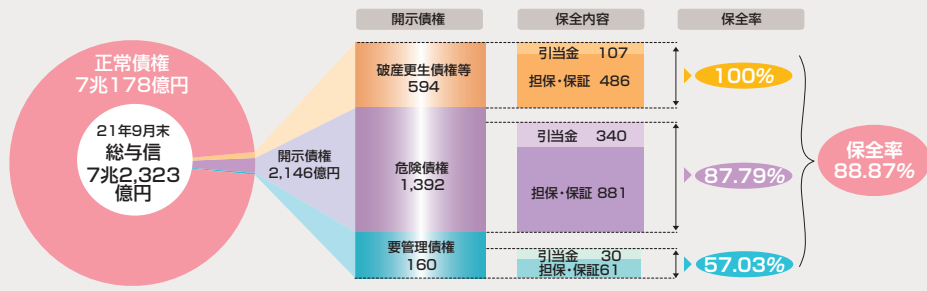
■危険債権・・・お取引先が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本及び利息の受取ができない可能性の高い債権のことです。

■要管理債権・・・3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権（「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」を除く）のことです。

■開示債権比率・・・総与信に占める金融再生法開示債権の割合を示しています。この比率が低いほど健全性が高いといえます。

不良債権への備え

金融再生法開示債権2,146億円のうち、1,429億円は担保・保証、477億円は貸倒引当金によりカバーされており、保全率は88.87%と十分な引当・保全状況を維持しております。



銀行持株会社



- 名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
- 本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
- 業務の内容 1.傘下子会社の経営管理
2.上記経営管理業務に付帯または関連する業務

- 資本金 708億9,500万円
- 発行済株式 普通株式 1,391,630,146株
第1回第5種優先株式 107,432,000株

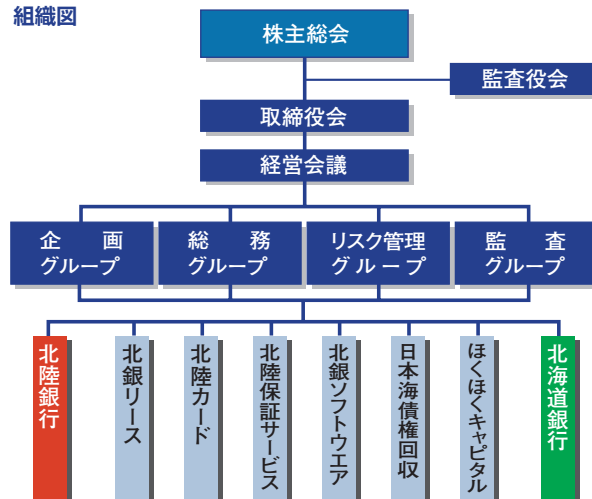
●取締役・監査役の役職および氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	高木 繁雄	取締役 庵	栄 伸
取締役副社長	堰八 義博	取締役 大島	雄次
取締役	川合 哲	監査役 松本	雅登
取締役	近藤 政道	監査役 南	義弘
取締役	岩崎 民憲	監査役 石黒	靖尋
取締役	相馬 彰彦	監査役 林	則清

- 従業員の数 専任者12名、兼務者41名、計53名
- 設立日 平成15年9月26日
- 各組織の構成および役割等

取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。
監査役会	監査の方針、監査役の職務の執行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行を監査します。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

組織図



グループ各社の内容

- (株)北陸銀行 ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っております。
- (株)北海道銀行 総合金融サービスの提供を行っております。
- 北銀リース(株) リース業務、代金回収業務などを行っております。
- (株)北陸カード JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っております。
- 北陸保証サービス(株) 住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っております。
- 北銀ソフトウェア(株) コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っております。
- 日本海債権回収(株) 地域の企業再生支援およびグループ内の不良債権処理に係る業務などを行っております。
- ほくほくキャピタル(株) 株式公開の立案・アドバイザ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っております。

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。

地域からお預かりしたご預金は、地域のお客さまにご融資し、地域経済発展に貢献しております。

北陸三県	148カ店
富山県	90カ店
石川県	36カ店
福井県	22カ店
北海道	155カ店
その他	4カ店

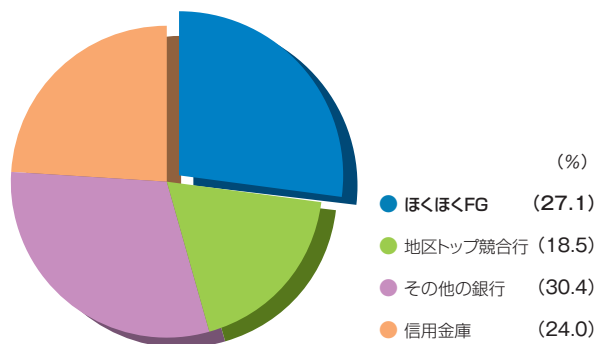
3大都市	17カ店
東京・神奈川	10カ店
近畿・名古屋	7カ店



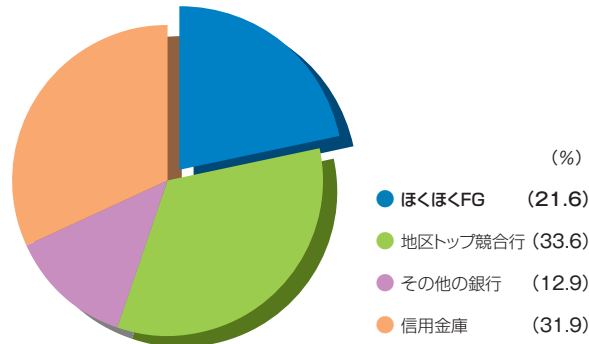
海外

- ・上海駐在員事務所
 - ・瀋陽駐在員事務所
 - ・シンガポール駐在員事務所
 - ・ニューヨーク駐在員事務所
 - ・ユジノサハリンスク駐在員事務所
 - ・ロンドン駐在員事務所
- (平成21年9月末)

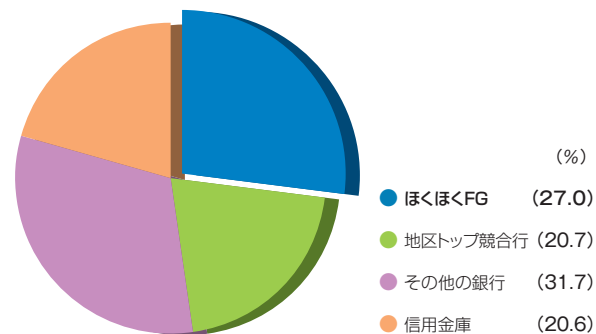
■ 北陸三県内預金シェア (銀行+信用金庫)



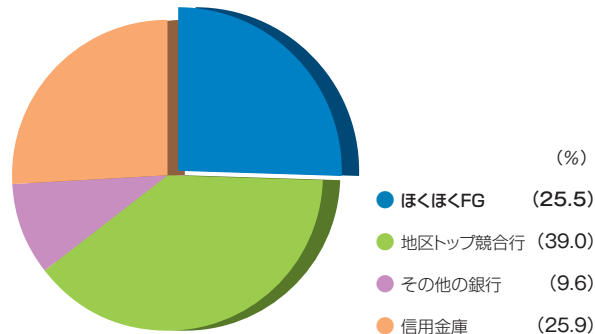
■ 北海道内預金シェア (銀行+信用金庫)



■ 北陸三県内貸出金シェア (銀行+信用金庫)



■ 北海道内貸出金シェア (銀行+信用金庫)



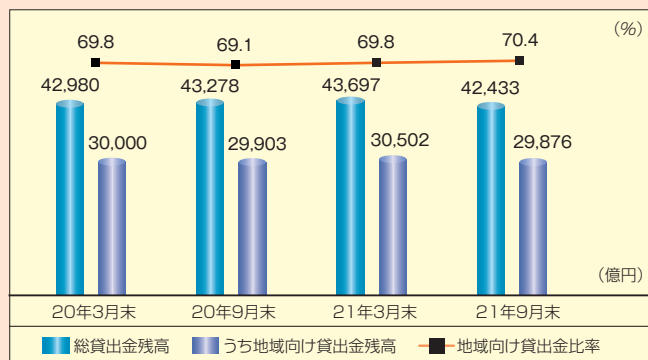
地域とのかかわり

※平成21年3月末現在 ※財務省 北陸財務局「北陸地域主要経済指標」、北海道財務局「北海道金融月報」、日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」より当社にて作成。
 ※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

貸出金の状況

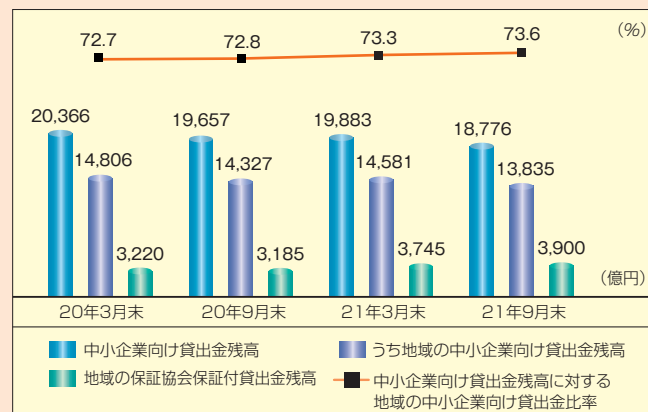
■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち、地域向け貸出金は2兆9,876億円と前年同期とほぼ同水準の残高であり、地域向け貸出金比率は70.4%となっております。



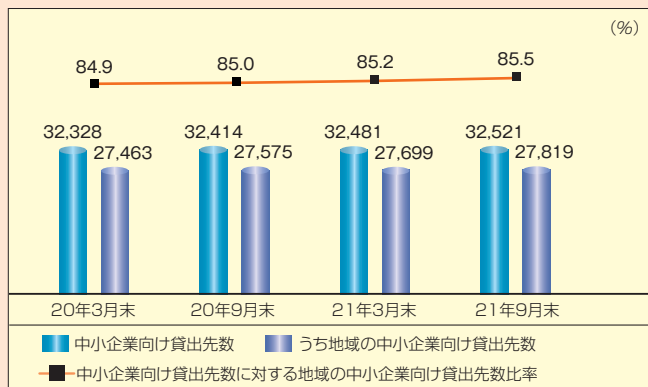
■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は1兆8,776億円で、地域の中小企業向け貸出金は1兆3,835億円と中小企業向け貸出金の73.6%を占めております。

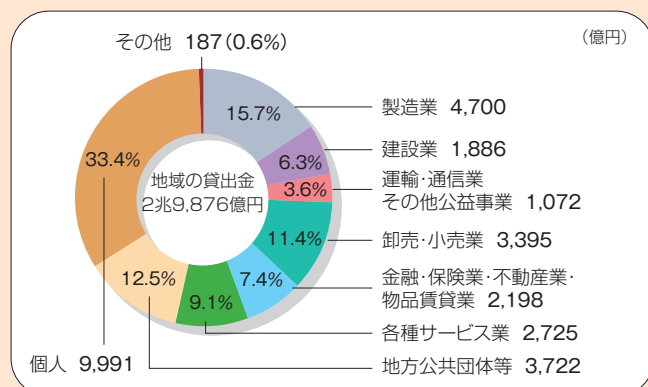


■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は32,521先で、そのうち地域の中小企業向け貸出先数は27,819先と85.5%を占めております。



■ 地域の業種別貸出残高(平成21年9月末)

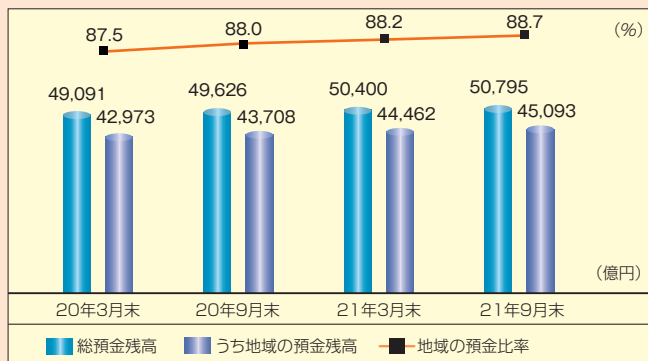


日本標準産業分類の改定に伴い、業種の表示を一部変更しております。

預金等の状況

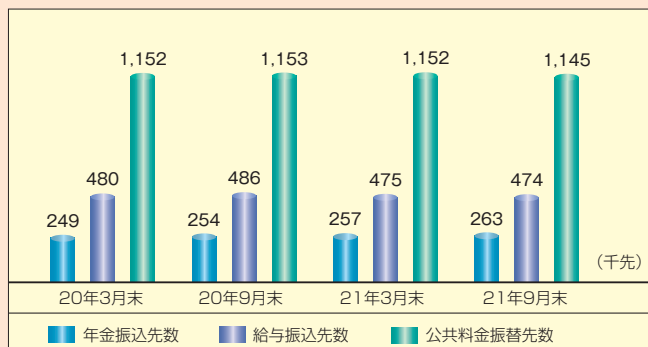
■ 地域の預金の状況

総預金は5兆795億円、うち4兆5,093億円が地域の預金で、総預金の88.7%を占めております。



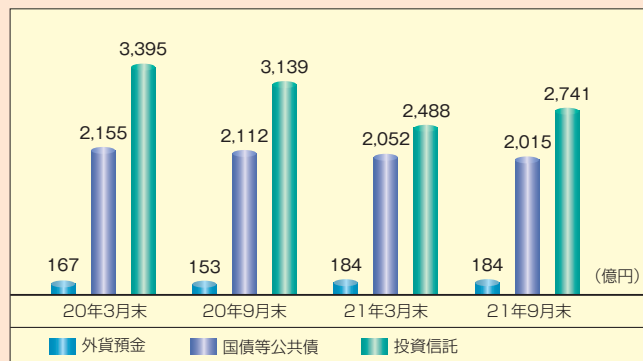
■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は26万3千先、給与振込は47万4千先、公共料金の自動口座振替は114万5千先と多くのお客さまに家計のメイン口座として北陸銀行をご利用いただいております。



■ 投資型金融商品の状況

21年9月末の個人のお客さまに対する投資型金融商品の合計残高は4,940億円となりました。今後も、商品ラインナップの充実および販売体制の整備に努めてまいります。



● お客さまのご要望にお応えできる「資産運用セミナー」開催

北陸銀行では、お客さまのさまざまな資産運用ニーズにお応えする幅広い商品ラインナップを充実させるとともに、お客さまの運用資産や投資方針に応じ、商品説明を丁寧に行っております。また、お客さまのご要望に的確にお応えできるようファイナンシャルプランナー資格者を営業店へ配置するとともに、各地で「資産運用セミナー」を開催しております。



資産運用セミナー風景（ドリームセンター武蔵）

地域経済活性化のために

北陸銀行は、地域密着型金融の本質である「地域とともに生きる」という高い志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまとともに歩み、成長・発展することを目指します。

◎ 創業・新事業支援

北陸銀行では、グループ企業のほくほくキャピタル・北銀リース、そして北陸地域有数のシンクタンクである北陸経済研究所と連携し、地域の次世代産業の担い手となる産業・企業の育成に積極的に取り組んでいます。

◎ 経営改善支援

【経営改善支援】

お取引先の事業再生支援にあたり、従来の経営改善支援チームを経営改善支援室に格上げし、本部専担部署が主導する体制に変更しました。これまで培ってきたノウハウを同室へ集約、営業店への支援を強化し、お取引先企業の再生支援の強化を図ってまいります。

【ほくぎんビジバ倶楽部】

企業経営や経営企画・事業開発・総務人事業務など、さまざまな問題やリスクを抱えるお取引先企業の経営者向けの会員制経営相談・情報サービスです。

【事業承継・M&Aセミナー】

外部講師や金融サービス室コンサルティング推進グループのメンバーによる事業承継やM&Aセミナーを各地で開催しております。

【グローバルセミナー】

北陸銀行では、外国政府機関や有力外国銀行との連携など、地域のお取引先企業の海外進出を積極的にサポートしております。また、北陸三県を中心に、中国・



ASEAN地域における経済動向や投資環境など経済事情に応じたテーマによるグローバルセミナーを開催しております。

◎ ネットワーク機能を活用した情報提供

グループの北海道銀行、そして横浜銀行や大垣共立銀行、地元金融機関とも連携し、お互いのネットワーク機能を活用したお取引先企業への各種情報の提供に努めております。

また、お取引先企業に対するビジネス・サミットをはじめとする商談会等を開催し、ビジネスマッチングに積極的に取り組んでおります。

10月28日、高岡開町400年を記念した「東海北陸地区ビジネス・マッチングフェア～ビジネス・サミット2009 in 高岡～」を富山県高岡市で開催いたしました。今回のフェアは、昨年開通した東海北陸自動車道沿線地域の経済・産業の交流活性化を目的に、高岡市、高岡商工会議所、大垣共立銀行と共同で開催いたしました。当日は、中国からのバイヤー10社を含め209社が出展しました。販路拡大や新規顧客獲得などのビジネスチャンスを求め、6,875人が訪れ、商談数は約5,400件に達しました。

また、7月16日には中国・上海市で地方銀行11行合同での「ものづくり商談会@上海(2009SUMMER)」を開催しました。上海での商談会は、今回で5回目となり、対中国ビジネスの橋渡しを積極的に行っております。



TOPICS



8月 「もりの里支店」新設

8月24日に、もりの里支店を小立野支店内に店舗内店舗として設置しました。11月24日、金沢市もりの里に移転し、正式にオープンいたしました。新店舗には、貸金庫・夜間金庫、キッズコーナー・ギャラリーラウンジ、そして太陽光発電設備を設置し、便利で快適な店舗となっています。もりの里周辺は、金沢外環状道路山側幹線の開通などで商業施設の集積や住宅地の開発が進み、今後の発展が見込まれています。



9月 日本政策投資銀行と「環境融資等に関する業務協力協定」を締結

北陸3県における環境対策の進展に寄与すべく、日本政策投資銀行と環境対策事業に対する金融サービスの提供等に関して「環境投融資等に関する業務協力協定」を締結いたしました。環境事業向けファイナンスに強みを有する日本政策投資銀行と協働することにより、北陸地域で環境事業を行うお取引先ニーズへの対応力を強化するとともに、個別の環境事業や業界動向などについて両行間で情報交換を行い、良質な環境プロジェクトの形成や案件発掘に取り組んでまいります。

9月 「ロンドン駐在員事務所」を設置

9月23日、欧州の金融の中心であるイギリスのシティにロンドン駐在員事務所を設置いたしました。ロンドンでの拠点設置は平成10年3月にロンドン支店を閉鎖して以来、11年ぶりとなります。ロンドン駐在員事務所は、ニューヨーク、上海、



シンガポールに次いで4カ所目の海外拠点となり、アジア、北米、欧州にまたがる24時間グローバルネットワークが実現いたしました。

9月 セブン銀行とのATM利用提携開始

9月28日から、富山県内の銀行として初めてセブン銀行とのATM利用提携を開始いたしました。今回の提携により、全国14,188台のセブン-イレブン、イトーヨーカドー等に設置されたセブン銀行ATMで、入出金等のサービスがご利用いただけるようになりました。なお、5月に「バンクタイム」ATMサービスも開始しており、相互無料開放ATMを合わせて北陸銀行のキャッシュポイントは全国で35,115カ所(9月末現在)となり、大幅なサービス向上となりました。

9月 本店内にアートギャラリーを新設



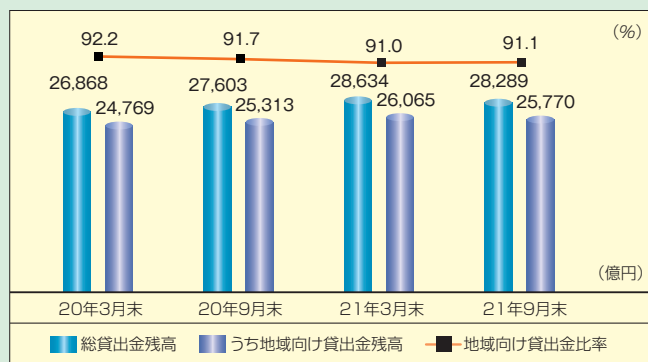
角川書店の創業者・故角川源義氏の義姉の角川文字さん、姪の歌人辺見じゅんさんから寄贈を受けた絵画コレクションの常

設展示スペース「角川文字 辺見じゅんアートギャラリー」を本店1階ロビーに新設しました。日本画家下保昭氏をはじめ富山ゆかりの画家や岡本太郎氏、平山郁夫氏らの格調高い作品を展示しております。

貸出金の状況

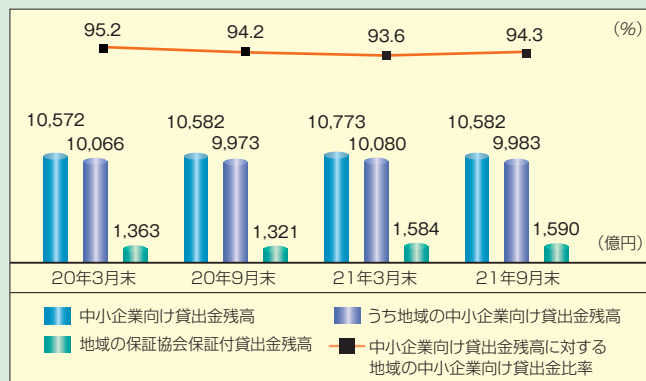
■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち地域向け貸出金は、2兆5,770億円となりました。地域向け比率は91.1%と引き続き高い水準となっております。



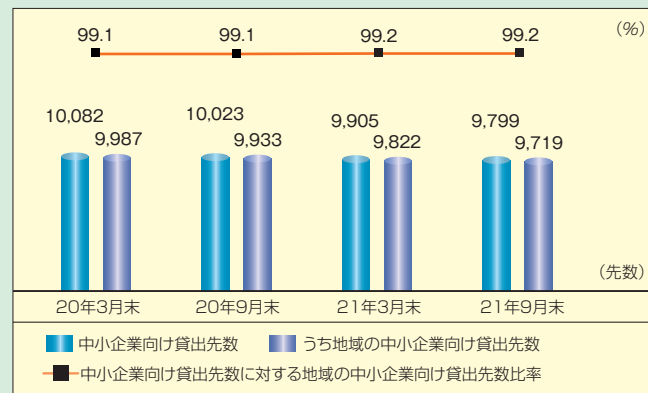
■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は1兆582億円で、地域の中小企業向け貸出金は9,983億円となっており、地域向け比率は94.3%と地域のお客さまの資金需要に積極的にお応えしています。

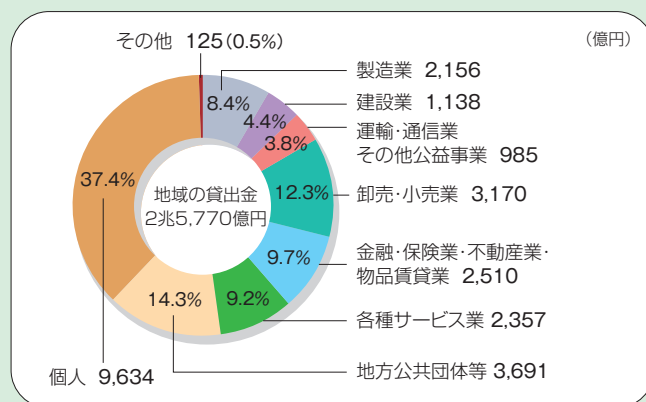


■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は9,799先で、そのうち地域の中小企業向けは9,719先となっております。



■ 地域の業種別貸出残高(平成21年9月末)

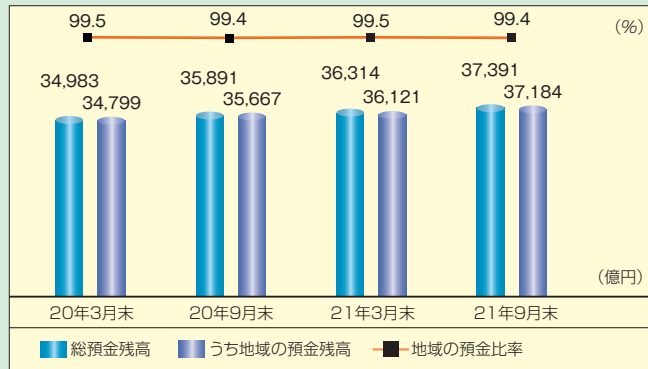


日本標準産業分類の改定に伴い、業種の表示を一部変更しております。

預金等の状況

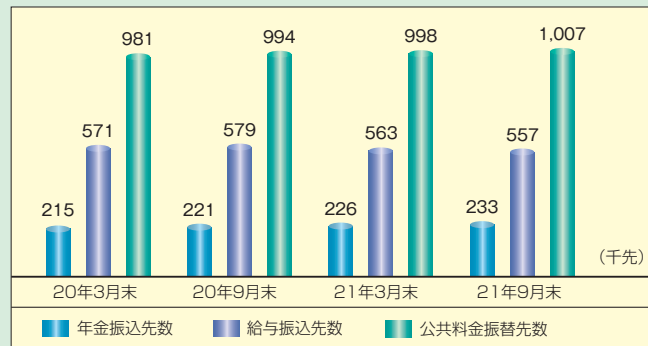
■ 地域の預金の状況

総預金は3兆7,391億円となりました。うち3兆7,184億円が地域の預金で、総預金の99.4%を占めております。



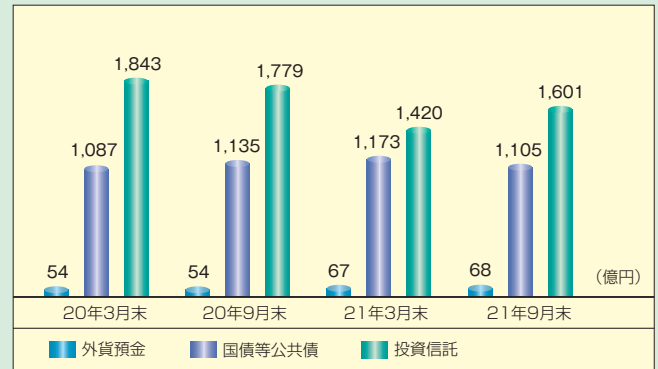
■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は23万3千先、給与振込は55万7千先、公共料金の自動振替は100万7千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



■ 投資型金融商品の状況

個人のお客さまに対する投資型金融商品の残高は、平成21年9月末で2,775億円となりました。



● 「ジャンボ宝くじ付き定期預金」でまたまた高額当せん

「サマージャンボ宝くじ付き定期預金」にお預け入れいただいたお客さまの中から、平成21年第566回全国自治宝くじ「サマージャンボ」において3等1,000万円1本のほか、特別賞として用意された「夏祭り賞」(100万円)が25本当せんしました。

北海道銀行の「ジャンボ宝くじ付き定期預金」はお預け入れ200万円ごとに、10枚連番の「ジャンボ宝くじ」をご自宅に郵送でお届けする商品で、宝くじファンからは、「夢がってくる定期預金」として大変好評をいただいています。

過去には1等前後賞3億円の当せんが2回出ていることもあり、お客さまからの支持も厚く、現在まで計10回の取り扱いは行っています。



ジャンボ宝くじ付き 定期預金

地域経済活性化のために

北海道銀行では、北海道の強みを伸ばし弱みを克服することにより地域経済のさらなる活性化を図るため、ものづくり企業や農業事業者の支援に積極的に取り組んでおります。

◎「北海道の『食』特別商談会」in函館

6月24日、「北海道の『食』特別商談会」in函館を開催いたしました。

本商談会は、同時開催の「第5回はこだて水産食品展示フェア」とタイアップし、同フェアの「展示商談」とともに、本会では面談形式での「個別商談」を実施しました。

当日は、同フェア出展企業47社のうち26社が「個別商談」に参加し、有力スーパー9社11名のバイヤーと94件の商談が行われました。



翌日は、有力バイヤーを商談会の参加企業16社の工場へお招きし、生産ラインから実態把握してもらおう等、内容の濃い商談会となりました。

◎第4回地域金融セミナー

7月21日、道内信用金庫・信用組合の理事長・役員の方さま33名のご参加をいただき地域金融セミナーを開催いたしました。本セミナーは道内金融機関としての共通の課題解決、相互扶助、接点強化を目的としており、今回で4回目の開催となります。

セミナーでは、外部講師を招請し金融経済動向や今後の展望についてご講演をいただき、北海道銀行からは極東ロシアビジネスの現状について説明を行いました。セミナー終了後は懇親会にて情報交換を行い、道内金融機関として相互の理解を深める有意義なセミナーとなりました。



◎森づくり活動～「道銀フォレスト運動」～

「道銀の森」創設式および第1回植樹式開催

9月27日、秋晴れの中、当別町「道民の森」神居尻地区区内で「道銀の森」創設式および第1回植樹式を総勢約250名参加のもと開催し、森づくりを通じた環境保全活動を本格的に開始いたしました。

「道銀の森」は、北海道が平成20年から開始した「水源の森づくり」事業のスキームを活用し、5ヘクタールの敷地に毎年1ヘクタールずつミズナラ・ヤチダモ・シラカバ・アカエゾマツ等合計10,000本の植栽を行います。この活動は、北海道銀行が発起行（現在は運営委員）の一員として設立した「日本の森を守る地方銀行有志の会」（地方銀行全64行参加）と連携しており、「道銀の森」創設に伴い、役職員による「道銀フォレスト運動」を展開します。

「道銀フォレスト運動」は、“笑顔あふれる未来のためにこの恵みを次の世代に引き継いでいく”ため、より多くの職員が森づくりに関わることを基本コンセプトとした活動です。この活動への取り組みとして、「フォレスト・リーダー」を札幌近郊店と本部から選抜しています。今後も自治体等と協力し、環境保全活動の推進を積極的に行ってまいります。

また、こうした活動と併せ、昭和50年から「さつぼろライラックまつり」においてライラック苗木を累計約95,000本配付しており、植樹活動も継続的に展開していきたいと考えております。



環境キャラクター「ええころDo」

TOPICS



8月 第2回「ものづくり企業見学ツアー」

8月5日から3日間にわたり、函館、苫小牧、釧路、旭川の道内4高専の3年生を対象とした「ものづくり企業見学ツアー」を開催いたしました。

本ツアーは道内4高専との「産学連携協力協定」にもとづく事業の一環として、

昨年を引き続き行いました。日頃、授業では体験できないものづくり企業の工場見学を通して、企業経営者や社員の皆さまのものづくりに対する思いを肌で感じ、他の高専の参加者との意見交換などにより交流を深める3日間となりました。

8月 中標津町への
新店舗出店

根釧地区の交通および情報の要所である中標津町に、札幌市外への出店としては17年ぶりとなる中標津支店を8月27日に



開店いたしました。新店舗は、「相談ブース」、「全自動貸金庫」、「セミナールーム」を装備し、地域の皆さまにより身近にご利用いただける魅力ある店舗にしております。

新店舗開店前の7月22日から7月24日には、道内・首都圏の百貨店・スーパー等のバイヤーを中標津町へ招き、「食の特別商談会」を開催いたしました。今後も北海道銀行の情報ネットワークを活かした営業を実現することにより、根釧地区の活性化に貢献していきたいと考えております。

9月 2009ビジネスマッチングin瀋陽

9月11日、12日に中国進出を目指す道内の企業と瀋陽を中心とした中国企業との商談会、展示会を昨年に引き続き札幌商工会議所・札幌市等と共催で開催いたしました。道内からは食品会社を中心とした18社が集まり、中国側約40社の企業と熱のこもった商談が行われました。

中国においても「安心・安全」の道内食品は大変な人気を誇り、予定時間を超過し商談をしているブースもありました。

また商談会終了後は、第3回中国北東アジア（瀋陽）輸入商品博覧会に参加。各企業と商品PRを展開し、こちらも成功裏に終わりました。



9月 「外貨両替プラザ」移転オープン

9月14日、本店営業部内の外貨両替プラザを、隣接ビル地下2階へ移転、新設オープンいたしました。当プラザでは外貨現金14通貨・トラベラーズチェック6通貨の取り扱いを行っております。札幌市内で地下鉄乗降客が最も多い大通駅南北線



改札口に面し、より多くのお客さまにご利用いただける新しい窓口となりました。

また、ATM12台、通帳繰越機1台を設置するATMコーナーも同プラザ横へ同時移転いたしました。

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表(平成21年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	9,376	流動負債	185
現金及び預金	7,112	未払配当金	66
前払費用	3	未払費用	50
未収収益	36	未払法人税等	56
繰延税金資産	14	未払消費税等	9
未収還付法人税等	2,209	預り金	2
固定資産	267,885	その他	0
有形固定資産	0	固定負債	40,030
器具及び備品	0	社債	40,000
無形固定資産	1	その他	30
商標権	1		
投資その他の資産	267,883	負債の部合計	40,216
関係会社株式	227,870	純資産の部	
関係会社長期貸付金	40,000	資本金	70,895
繰延税金資産	12	資本剰余金	142,093
その他	0	資本準備金	82,034
		その他資本剰余金	60,058
		利益剰余金	24,505
		その他利益剰余金	24,505
		繰越利益剰余金	24,505
		自己株式	△447
		株主資本合計	237,045
		純資産の部合計	237,045
資産の部合計	277,262	負債及び純資産の部合計	277,262

中間損益計算書(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(単位:百万円)

営業収益	1,836
関係会社受取配当金	1,464
関係会社受入手数料	372
営業費用	331
販売費及び一般管理費	331
営業利益	1,504
営業外収益	441
関係会社貸付金利息	430
その他の営業外収益	11
営業外費用	485
社債利息	430
事務委託費	55
経常利益	1,460
特別利益	10,074
関係会社株式売却益	10,074
税引前中間純利益	11,534
法人税、住民税及び事業税	145
法人税等調整額	△0
法人税等合計	144
中間純利益	11,389

中間株主資本等変動計算書(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計			
平成21年3月31日残高	70,895	82,034	129,963	211,997	18,487	18,487	△434	300,945	300,945
当中間期変動額									
剰余金の配当	-	-	-	-	△5,372	△5,372	-	△5,372	△5,372
中間純利益	-	-	-	-	11,389	11,389	-	11,389	11,389
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	△69,918	△69,918	△69,918
自己株式の処分	-	-	△1	△1	-	-	2	1	1
自己株式の消却	-	-	△69,903	△69,903	-	-	69,903	-	-
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当中間期変動額合計	-	-	△69,904	△69,904	6,017	6,017	△12	△63,899	△63,899
平成21年9月30日残高	70,895	82,034	60,058	142,093	24,505	24,505	△447	237,045	237,045

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結貸借対照表(平成21年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	395,992	預金	8,770,418
コールローン及び買入手形	90,071	譲渡性預金	111,565
買入金銭債権	141,063	コールマネー及び売渡手形	44,000
特定取引資産	9,030	特定取引負債	2,630
金銭の信託	4,421	借入金	190,189
有価証券	1,761,745	外国為替	98
貸出金	6,983,518	社債	79,500
外国為替	9,788	その他負債	169,297
その他資産	256,122	退職給付引当金	6,864
有形固定資産	111,669	偶発損失引当金	1,968
無形固定資産	38,726	睡眠預金戻戻損失引当金	1,815
繰延税金資産	76,891	再評価に係る繰延税金負債	8,970
支払承諾見返	126,561	支払承諾	126,561
貸倒引当金	△92,662		
		負債の部合計	9,513,881
		純資産の部	
		資本金	70,895
		資本剰余金	153,194
		利益剰余金	157,466
		自己株式	△482
		株主資本合計	381,072
		その他有価証券評価差額金	8,468
		繰延ヘッジ損益	△18
		土地再評価差額金	8,785
		評価・換算差額等合計	17,234
		少数株主持分	751
		純資産の部合計	399,059
資産の部合計	9,912,941	負債及び純資産の部合計	9,912,941

中間連結損益計算書(平成21年4月1日~平成21年9月30日)(単位:百万円)

経常収益	114,346
資金運用収益	77,726
(うち貸出金利息)	(66,360)
(うち有価証券利息配当金)	(9,240)
役員取引等収益	20,174
特定取引収益	890
その他業務収益	13,823
その他経常収益	1,732
経常費用	100,994
資金調達費用	12,397
(うち預金利息)	(10,004)
役員取引等費用	5,968
その他業務費用	7,980
営業経費	52,920
その他経常費用	21,727
経常利益	13,352
特別利益	40
特別損失	1,190
税金等調整前中間純利益	12,201
法人税、住民税及び事業税	4,382
過年度法人税等戻入額	△104
法人税等調整額	2,079
法人税等合計	6,357
少数株主利益	70
中間純利益	5,773

中間連結株主資本等変動計算書(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成21年3月31日残高	70,895	223,098	156,942	△470	450,466	△18,341	△45	8,908	△9,478	676	441,664
当中間期変動額											
剰余金の配当	-	-	△5,372	-	△5,372	-	-	-	-	-	△5,372
中間純利益	-	-	5,773	-	5,773	-	-	-	-	-	5,773
自己株式の取得	-	-	-	△69,918	△69,918	-	-	-	-	-	△69,918
自己株式の処分	-	△1	-	2	1	-	-	-	-	-	1
自己株式の消却	-	△69,903	-	69,903	-	-	-	-	-	-	-
土地再評価差額金の取崩	-	-	122	-	122	-	-	-	-	-	122
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	26,809	26	△122	26,712	74	26,787
当中間期変動額合計	-	△69,904	523	△12	△69,393	26,809	26	△122	26,712	74	△42,605
平成21年9月30日残高	70,895	153,194	157,466	△482	381,072	8,468	△18	8,785	17,234	751	399,059

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表(平成21年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	278,214	預金	5,079,564
コールローン	38,266	譲渡性預金	76,246
買入金銭債権	140,899	コールマネー	44,000
特定取引資産	6,740	特定取引負債	2,630
有価証券	858,419	借入金	169,034
貸出金	4,172,649	外国為替	75
外国為替	5,689	その他負債	72,054
その他資産	85,045	退職給付引当金	905
有形固定資産	68,642	偶発損失引当金	1,338
無形固定資産	3,358	睡眠預金払戻損失引当金	1,373
繰延税金資産	54,261	再評価に係る繰延税金負債	8,970
支払承諾見返	75,386	支払承諾	75,386
貸倒引当金	△44,855	負債の部合計	5,531,582
投資損失引当金	△1,057	純資産の部	
		資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	82,843
		利益準備金	4,433
		その他利益剰余金	78,410
		繰越利益剰余金	78,410
		自己株式	△44,322
		株主資本合計	193,929
		その他有価証券評価差額金	7,384
		繰延ヘッジ損益	△18
		土地再評価差額金	8,785
		評価・換算差額等合計	16,151
		純資産の部合計	210,080
資産の部合計	5,741,662	負債及び純資産の部合計	5,741,662

中間損益計算書(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(単位:百万円)

経常収益	57,502
資金運用収益	44,358
(うち貸出金利息)	(37,662)
(うち有価証券利息配当金)	(4,721)
役員取引等収益	10,326
特定取引収益	820
その他業務収益	1,077
その他経常収益	919
経常費用	47,651
資金調達費用	7,783
(うち預金利息)	(6,185)
役員取引等費用	3,359
その他業務費用	595
営業経費	27,489
その他経常費用	8,422
経常利益	9,850
特別利益	3,037
特別損失	587
税引前中間純利益	12,300
法人税、住民税及び事業税	45
過年度法人税等戻入額	△104
法人税等調整額	4,773
法人税等合計	4,713
中間純利益	7,587

中間株主資本等変動計算書(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金		評価・換算 差額等合計
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計							
平成21年3月31日残高	140,409	14,998	14,998	4,345	71,226	75,571	-	230,980	△7,550	△45	8,908	1,312	232,293
当中間期変動額													
剰余金の配当	-	-	-	87	△526	△438	-	△438	-	-	-	-	△438
中間純利益	-	-	-	-	7,587	7,587	-	7,587	-	-	-	-	7,587
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	△44,322	△44,322	-	-	-	-	△44,322
土地再評価差額金の取崩	-	-	-	-	122	122	-	122	-	-	-	-	122
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	14,934	26	△122	14,838	14,838
当中間期変動額合計	-	-	-	87	7,183	7,271	△44,322	△37,050	14,934	26	△122	14,838	△22,212
平成21年9月30日残高	140,409	14,998	14,998	4,433	78,410	82,843	△44,322	193,929	7,384	△18	8,785	16,151	210,080

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表(平成21年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	116,659	預金	3,739,163
コールローン	51,804	譲渡性預金	35,318
商品有価証券	2,290	借入金	84,200
金銭の信託	4,421	外国為替	22
有価証券	929,191	社債	15,000
貸出金	2,828,903	その他負債	68,122
外国為替	4,099	退職給付引当金	5,638
その他資産	128,853	偶発損失引当金	630
有形固定資産	32,280	睡眠預金払戻損失引当金	442
無形固定資産	3,289	支払承諾	28,989
繰延税金資産	22,847	負債の部合計	3,977,527
支払承諾見返	28,989	純資産の部	
貸倒引当金	△31,308	資本金	93,524
		資本剰余金	16,795
		資本準備金	16,795
		利益剰余金	55,267
		利益準備金	4,158
		その他利益剰余金	51,109
		繰越利益剰余金	51,109
		自己株式	△26,523
		株主資本合計	139,063
		その他有価証券評価差額金	5,730
		評価・換算差額等合計	5,730
		純資産の部合計	144,794
資産の部合計	4,122,321	負債及び純資産の部合計	4,122,321

中間損益計算書

(平成21年4月1日~平成21年9月30日)(単位:百万円)

経常収益	46,923
資金運用収益	33,395
(うち貸出金利息)	(28,548)
(うち有価証券利息配当金)	(4,696)
役務取引等収益	7,819
その他業務収益	4,911
その他経常収益	796
経常費用	42,550
資金調達費用	4,643
(うち預金利息)	(3,858)
役務取引等費用	3,418
その他業務費用	1,475
営業経費	22,228
その他経常費用	10,783
経常利益	4,373
特別利益	1,377
特別損失	73
税引前中間純利益	5,677
法人税、住民税及び事業税	3,771
法人税等調整額	△1,917
法人税等合計	1,853
中間純利益	3,823

財務諸表

中間株主資本等変動計算書(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
平成21年3月31日残高	93,524	16,795	16,795	3,953	48,513	52,467	-	162,786	△4,500	△4,500	158,285
当中間期変動額											
剰余金の配当	-	-	-	204	△1,227	△1,022	-	△1,022	-	-	△1,022
中間純利益	-	-	-	-	3,823	3,823	-	3,823	-	-	3,823
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	△26,523	△26,523	-	-	△26,523
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	10,231	10,231	10,231
当中間期変動額合計	-	-	-	204	2,596	2,800	△26,523	△23,722	10,231	10,231	△13,491
平成21年9月30日残高	93,524	16,795	16,795	4,158	51,109	55,267	△26,523	139,063	5,730	5,730	144,794

株式のご案内

決算期	毎年3月31日
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
1単元の株式数	1,000株
証券コード	8377
上場証券取引所	東京証券取引所(第一部) (普通株式) および札幌証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞 富山市において発行する北日本新聞 札幌市において発行する北海道新聞 ※決算公告は当社ホームページ (http://www.hokuhoku-fg.co.jp/) に開示いたしております。
株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株式に関する諸手続きについて

①普通株式をご所有の株主さま

- 証券会社の口座に記録されている株式
住所変更等の各種お届け出につきましては、お取引のある証券会社が窓口になります。
- 「特別口座」に記録されている株式
「特別口座」に記録された株式に関する振替請求や、住所変更等の各種お届け出につきましては、みずほ信託銀行の本支店 および みずほインベスターズ証券の本支店が窓口になります。

②優先株式をご所有の株主さま

みずほ信託銀行の本支店 および みずほインベスターズ証券の本支店において各種ご請求・お届け出を承っております。

お問合せ先・郵便物の送付先

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル **0120-288-324**

「単元未満株式の買取・買増手数料無料キャンペーン」のご案内

当社では、このたび、単元未満株式(1,000株未満の株式)の買取・買増制度^(※)をご利用いただく際、従来頂載しております**手数料を無料とするキャンペーン**を実施いたします。

単元未満株式をご所有の株主さまにおかれましては、この機会にご検討いただけますようお願い申し上げます。

キャンペーン対象期間：平成**21**年**12**月**10**日(木)～平成**22**年**3**月**11**日(木)受付分まで

※ 買取制度：株主さまのご請求により、単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度

買増制度：株主さまのご請求により、ご所有の単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)となるように当社から単元未満株式をお買い増しいただく制度

●買取制度・買増制度をご利用の株主さまは、以下のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

証券会社の一般口座に単元未満株式をご所有の株主さま

—— お取引のある証券会社へお申し出ください ——

※無料となる手数料は当社に係る手数料です。お手続きに際して、証券会社にてお取次ぎ手数料がかかる場合がございますので、お取引の証券会社までお問い合わせください。

特別口座に単元未満株式をご所有の株主さま

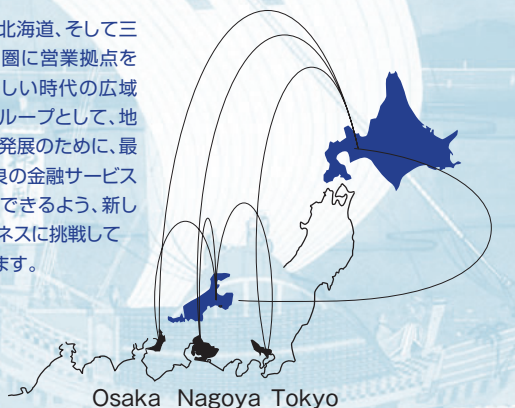
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル **0120-288-324**

※このご案内は、単元未満株式の買取・買増請求を強制するものではありません。ご請求に際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

■ Hokuhoku Network

北陸と北海道、そして三大都市圏に営業拠点を
持つ新しい時代の広域
金融グループとして、地
域経済発展のために、最
新・最良の金融サービス
が提供できるよう、新し
いビジネスに挑戦して
まいります。



■ コーポレートマーク



垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着いたあるブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほくほく」の頭文字である「h」を表しています。

お知らせ

このたび、当社の上場取引所（東京証券取引所・札幌証券取引所）では、有価証券の普通取引において基準日等が設定される場合の権利付最終日に係る取扱いを、以下のとおり変更いたしました。

変更前

基準日等の4営業日前の日



変更後

基準日等の3営業日前の日

これにより、当社の普通株式につきましても、原則として平成22年3月31日の基準日より権利付最終日、権利落日がそれぞれ1営業日後扱いとなり、当該基準日に係る普通取引の権利付最終日は平成22年3月26日となりますので、ご注意ください。なお、ご不明な点は、お取引の証券会社までお問い合わせください。

■ ホームページのご案内

ほくほくフィナンシャルグループ <http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

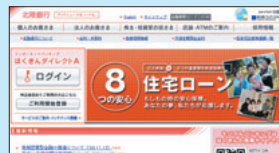
ほくほくフィナンシャルグループの概要、経営戦略、財務データやIR情報、そしてニュースリリースなど最新の情報から過去のデータまでご覧いただけます。



北陸銀行

<http://www.hokugin.co.jp/>

取扱商品・サービスやキャンペーンのお知らせから店舗やATM（コンビニATMを含む）の所在地・ご利用時間まで、さまざまな情報を詳細かつタイムリーに掲載しております。

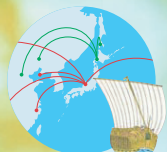


北海道銀行

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

各種商品・サービス、セミナーのご案内、トピックスなどをタイムリーに掲載しています。また、定期預金、各種ローンの簡単なシミュレーションもご利用いただけます。





おかげさまで 5周年



ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel:076-423-7331
<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行 総合企画部広報グループ
〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel:076-423-7111
<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行 経営企画部広報CSR室
〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地
Tel:011-233-1005
<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

株式会社ほくほくフィナンシャルグループは
チーム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%